



安来市立病院

地域連携室つうしん

NO.61
令和8年2月



～宇賀荘水田のコハクチョウ～

事業管理者あいさつ

事業管理者 山崎泉美



平素より安来市立病院の運営に、ご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

1月6日に広瀬町を震源に震度5強の大規模な地震が発生しました。この地震の影響により当院では建物の一部損壊を確認したため、診療の制限をしなければならなくなりました。また、医療の安全性を確保するためにDMAT要請を行い、別館病棟の患者さまを本館病棟へ移送するなど、非常時の診療体制を余儀なくされました。長期に渡り余震が続きましたが、ライフラインへの影響はなく、施設の安全確認を行いながら、外来診療、救急医療、在宅医療等を順次再開し現在は通常に戻っています。この間、島根県、松江保健所、各医療機関をはじめ、多方面の方々にご心配とご迷惑をおかけいたしました。今回の経験から大規模災害発生時における対応について総点検を行い、医療の継続性に努めていかなければならないと痛感しています。

さて、2026年は60年に一度の丙午（ひのえうま）の年です。非常に強いエネルギーを持つ年とされ、目標に向かって真っすぐに挑戦することで幸運を引き寄せると言われています。本年は、将来の安来市を見据えた地域医療提供体制の基本構想を策定する年です。超高齢化と人口減少、担い手不足と医療DX、介護との連携など様々な観点から検討し、安来市の未来図を描いていくこととなります。

市立病院は、安心安全な医療を提供し続けていくために、様々な課題に向き合いながら地域医療のあり方を考え、安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

松江圏域医療・介護連携フォーラム 2025 参加

地域連携室 地域連携係長 山本啓輔

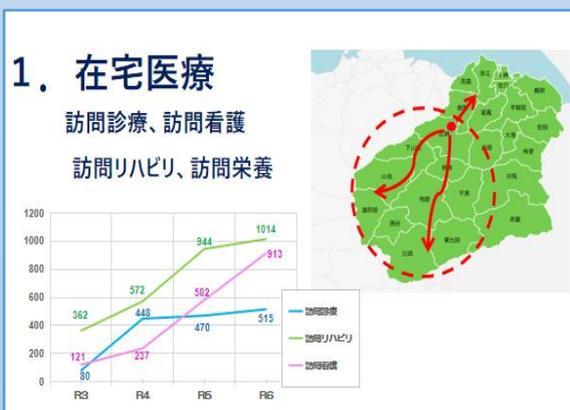


昨年9月末に、松江圏域医療・介護連携フォーラムに参加しました。本会議は、今後の地域医療・介護連携のあり方を考える場として、医療介護の現場の声や具体的な実践例を、各機関からトークリレー形式で発表し、相互の理解を深め合うという目的で開催されました。

当院は、「在宅療養支援病院として」のテーマで、①在宅医療への取り組みの現状、②市外の医療介護施設との連携について、③困難事例への取り組み、について発表を行いました。

高齢化率の高い山間部の地域医療を守るために、在宅医療（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ）を実施していること。安来市内の患者様のみならず、松江・米子圏域の病院や介護施設とも密に連携し、積極的に患者様の受け入れを行っていること。身寄りのない方や経済的に困窮されている方など、複雑な事情をお持ちの「困難事例」にも、行政や他機関との連携で寄り添った支援を継続していることなど、当院の取り組みをご理解いただける機会となりました。

今後も地域医療を守るため、住民お一人お一人に寄り添った温かい支援を継続してまいります。



地域住民の医療を守る
近隣地域の医療にも目を向ける
在宅医療、ICTの推進
関係機関との連携維持
お一人お一人に寄り添った支援



↑トークリレーでの発表。



↑発表後の意見交換会は和やかな雰囲気でした。

安来市版医療 MaaS プロジェクトについて

病院長 水田正能

安来市立病院は、深刻な高齢化に伴う通院困難者の増加や、医師の移動負担という課題を解決するため「安来市版医療 MaaS」を導入します。

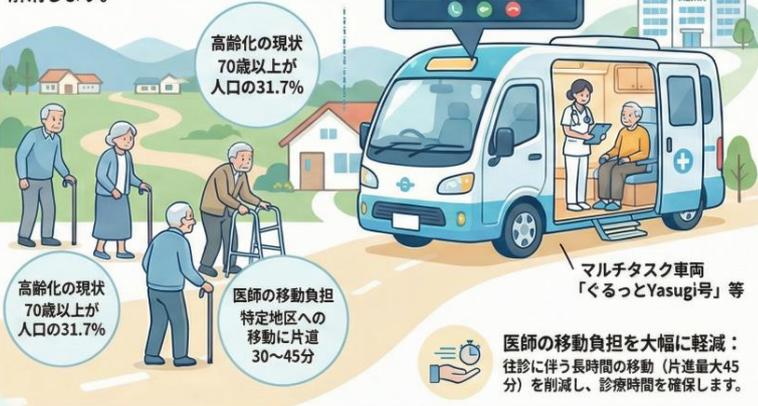
この事業では、看護師が同乗する車両が患者様のもとへ向かい、オンラインで病院の医師と繋ぐ「D-to-P with N」方式を採用します。遠隔聴診や電子カルテ同期等「移動する診察室」を実現することで地域格差のない医療を提供します。運用スケジュールは3段階で、2025年2月の準備・検証、9月の実証実験を経て、2026年3月から本格運用を開始します。当初は奥田原地区から展開し、順次他の無医地区へ拡大する計画です。

本プロジェクトを通じて、患者の通院の負担軽減と医師の業務効率化を図り、どこにいても診察が受けられる持続可能な地域医療モデルの確立と、質の高い医療の維持を目指します。

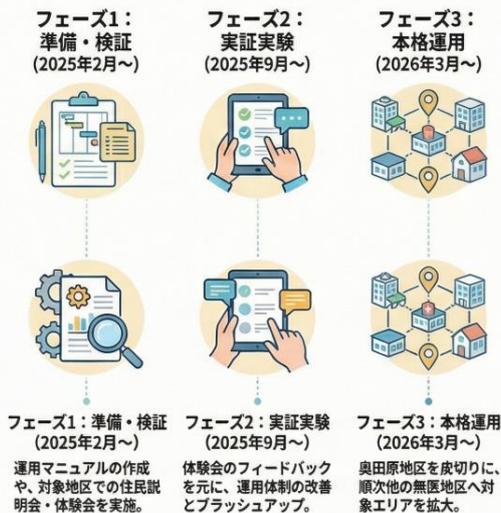
安来市版「医療MaaS」：移動する診療室で地域医療の未来を創る 高齢化と医師の移動負担を解決し、「どこにいても診られる」持続可能な地域医療モデルへ。

医療MaaSの仕組みと導入背景

通院困難な「医療弱者」の救済：
70歳以上が約3割を占める中、
免許返納後の移動手段不足を
解消します。



本格運用までのロードマップ



地域連携室よりお知らせ

地域連携室に地域連携係と在宅支援係を設置し3年が経過いたしました。この3年間、開業医の先生方はじめ、関係機関の皆様のご理解とご協力により、地域医療の充実に貢献することができ、入退院支援や在宅支援を円滑に進めることができたと思います。今後も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

また、レスパイト入院も随時受け付けておりますので、在宅介護にお困りの方がいらっしゃいましたら、いつでもご相談ください。お申込みは、申込用紙とお電話でお願いいたします。空床情報は当院ホームページに掲載しております。下記QRコードもしくは、「安来市立病院」で検索の上ご確認ください。

地域連携室は、開業医の先生方はじめ、地域の皆さまのお役に立てるように尽力いたします。今後ともよろしくご願い申し上げます。



↑左から、山本、玉木、渡部、小堀、竹田、田中、安部、岡野、永井



病院QRコード

安来市立病院 地域連携室

- ・地域連携室長：竹田裕司
 - ・在宅支援係：田中詳子係長、永井和子係長、岡野由香里、安部容子
 - ・地域連携係：山本啓輔係長、玉木直之、渡部純江、小堀聖亜
- 受付時間 8：30～17：00
【TEL】0854-32-2333（直通）
0854-32-2241（直通）
【FAX】0854-32-2335